

雪嶺会・北薬会・丁酉会 学生活動助成活動報告書

令和元年11月25日
薬学部4年 伊藤 麻菜絵

私は今回、2019年8月14～17日に山梨大学で行われた全国医学生ゼミナール(以下、医ゼミ)に参加しました。本報告書では、医ゼミとは何か、また医ゼミで私が主にしていた内容についてご報告させていただきます。

全国医学生ゼミナールとは

全国医学生ゼミナールは、医療系学生の学びたい欲求に応える場として60年から年に一度開催されています。ここには全国にいる同じ志を持った医療系学生たちが集まり、学びを共有し、お互いの未来の理想の医療者像について真剣に語り合います。また、医療の最先端で活躍されている医療従事者・研究者や広い興味を持った仲間の講演を聞くことで、自らの知見を広げることでもあります。自ら学びたいことを学び、社会問題等に正面から向き合い、仲間と想いを重ね合い、未来の医療を創っていく、それが医ゼミです。

今年の山梨医ゼミでは、メインテーマを「権利を見つめる」と題し、医療者の自己実現と患者さんの願いの一致点を探ることで、「自分はどのような医療をしたいのか」「どのような医療者になりたいのか」を皆で考えました。



基調報告の様子



SGD(Small Group Discussion)

私の医ゼミ

今回、私は準備を含め様々なことを経験しましたが、本番期間中の主な仕事として、閉会式で流すムービーの作成を行いました。これは4日間の総括として作成するムービーで、医ゼミの中で撮影された様々な写真・動画をまとめました。作成したムービーが閉会式で流されて、皆に見てもらった際は大きな達成感で一杯になりました。



動画作成中…

医ゼミでの経験は、私の人生にとってかけがえのないものになりました。この経験を生かし、より大学生活を豊かにしていきたいです。また就職した後に障壁にぶつかった際、この経験がきっと私を救ってくれることと思います。この度は本当にご支援いただきありがとうございました。